

市政報告・懇談会開催、公共交通や福祉の課題に多くの声



2024年8月23日、市政報告・懇談会を開催し、多くの市民団体や住民が参加しました。

冒頭、池田ゆみ市議は、生活の困難が政治によって広がる中で、市民からの切実な要望や、物価高騰や敬老パスの廃止に対する不安の声が多く寄せられていると述べる一方で、市内では大企業の再開発が進められていることに言及。市政を変える力として重要になってきている市民の運動がと力を合わせると挨拶しました。

第2回定例会での代表質問について

吉岡弘子議員は、札幌市が進める敬老パスの変更案に対する市民の不安と反発について取り上げ、「市民の声を無視したまま変更を進めるべきではない」と政治姿勢を追及したことや、自衛隊への名簿提供に関する問題や、北海道新幹線札幌延伸に伴う影響について質問し、札幌市長の答弁は市民の理解を得られるものではなかったと報告しました。

懇談会では、フロア参加者から多くの意見が寄せられました。特に、敬老パスの存続問題や公共交通の維持に関する声が多く寄せられ、参加者からは、「敬老

パスがなくなれば、外出が難しくなる市民が増える」と切実な要求が出され、公共交通を維持しなければならない札幌市の姿勢が問われました。

学童保育や障害者福祉の現状についても意見が交わされ、参加者から学童保育の指導員の待遇改善や札幌市が国の補助制度を積極的に活用するようにと要望がありました。さらに障害者福祉についても「親がいなくなった後の支援が不十分」「支援になかなかつながらない。そもそも支援そのものを知らない」と訴えがあり、今後の支援体制の強化が求められました。

懇談会の最後には、田中啓介議員が「市民の声を反映させ、福祉の充実を図ることが重要だ」と述べ、市政に向けた決意を示しました。懇談会では、市民の切実な声が多く寄せられ、札幌市の現状や課題が改めて浮き彫りとなりました。

「外出・健康維持」効果、全世代共通／敬老パス実態調査結果／札幌市

札幌市は8月、昨年末から今年にかけて実施した敬老優待乗車証(敬老パス)の「令和5年度利用実態等調査」報告書を公開しました。

■全世代が制度を評価

調査は、敬老パスの交付対象者となる70歳以上と、現役世代ともいえる18歳から70歳未満の市民に、別内容の調査票を送付。両世代に共通する8項目の設問について、回答結果を比較したのが別表(裏面)です。

調査の「敬老パスの効果」では、共通して「外出・健康維持」がトップとなり、上位を「公共交通の利用」「消費行動の増加」「社会参加」が占め、世代を超えて評価されていることがわかります。

■自己負担増へ誘導

「年間50億円市税負担」について三択を迫る設問では、どちらの世代も「知らなかった」が過半数を超えましたが、現役世代は4人のうち3人と高い割合を示しました。

問題なのは、50億円の使われ方の説明や設問がないため、市税負担の大きさだけを印象付けることになりました。「敬老パスの自己負担」の考えを聞く設問に、「ある程度の負担増はやむを得ない」「増やした方がよい」が、高齢世代では35.6%、現役世代は50.8%にのぼっていますが、「負担増」へと誘導されたのではないかと疑いはぬぐえません。

■敬老健康パス前提は問題

今回の調査結果をみても、全世代を通

じて敬老パスの評価は高く、「対象年齢」では、「現状維持」が6割超え、「引き下げ」を求める割合は現役世代の方が多くなっています。

こうした結果報告をみても、現役世代が、敬老パスへの市税負担が財政を圧迫しているとばかりみていないことを示しています。

調査票、「『敬老健康パス』の賛否を問うことはなく、導入を前提として回答を求めている、非常に問題が多い設問があります。

9月12日の札幌市議会に市が報告を予定する「敬老健康パス」の修正案は、北海道新聞が報じたところによると、利用上限額の見直しや、交付対象年齢の引き上げなどが盛り込まれ大幅後退です。

令和5年度敬老優待乗車証利用実態等調査の世代別比較

(単位%)

		70歳以上	70歳未満			70歳以上	70歳未満
健康寿命について	知っていた	67.6	69.0	年間50億円の市税負担	知っていた	38.1	24.7
	意味は知らなかった	21.2	17.7		知らなかった	56.0	75.2
	知らなかった	9.7	12.5		不明	5.9	0.1
	不明	1.5	0.7	敬老パスの自己負担	減らした方がよい	9.4	14.7
スマホの保有	はい	62.1	95.6		現状維持	49.7	34.0
	いいえ	35.8	4.2		ある程度の増額やむを得ない	31.9	38.9
スマホをもって便利になったこと	コミュニケーション	60.5	78.4		現在より増やした方がよい	3.7	11.9
	カメラやビデオ機能	55.3	74.0	不明	5.4	0.4	
	ネット情報の取得	50.1	86.6	対象年齢	引き下げ	4.1	17.6
	災害時の情報取得	38.2	56.2		現行維持	69.4	61.8
	地図や位置情報取得	36.6	74.5		引き上げ	10.5	11.0
	活動量や健康管理	29.3	28.7		わからない	9.1	5.4
	音楽や動画を楽しむ	23.4	66.2	その他	0.7	4.1	
	スケジュール管理	16.8	37.9	不明	6.1	0.1	
	キャッシュレス決済	16.4	58.6	「敬老健康パス」の素案について	仕組みが単純でること	55.2	76.2
	その他	4.8	2.6		活動が困難な方も参加できること	27.2	40.4
	特に感じない	7.7	1.2		サポート体制の整備	24.1	43.6
	不明	1.9	0.2		友人や家族と一緒に参加	19.4	23.7
	敬老パスの効果	外出・健康維持	68.6		69.7	ポイントを獲得できる	15.2
公共交通利用促進		49.9	60.2		活動の種類の充実	12.1	28.2
消費行動の増加		54.7	49.7		ポイントの交換先が魅力的	8.5	11.1
社会参加		43.8	49.4		ポイントの上限額の引き上げ	3.0	3.8
敬老精神の拡大		26.0	15.5	わからない	17.0	5.6	
その他		3.4	4.3	不明	11.4	1.5	
効果があると思えない		5.6	7.0				
不明		6.2	0.6				